

高橋晴美の音楽ネットワーク親睦会(2023.6.11) コーラスハルミオン & Pure Voices 成果発表コンサート

高橋晴美先生の音楽を愛し後援してくださっている方々をお招きして練習成果をお聴きいただく「高橋晴美の音楽ネットワーク親睦会・コーラスハルミオン & Pure Voices 成果発表コンサート」が2023年6月11日(日)、渋谷区上原の「けやきホール」で開催されました。コロナ禍の影響もあって、ネットワーク親睦会として開催するコンサートは、2018年7月に雙葉学園同窓会ホールで行った「Pure Voices～高橋晴美の愛と希望の世界を歌う～」以来のことでした。

この日は、ネットワーク会員の皆様に日ごろのご支援への感謝の気持ちを込めて全席を無料で開放しました。あいにく雨模様でしたが、足元の悪い中をお運びくださった約130人のお客様は、二部構成の“Harumi's World、を楽しんでくださいました。

【第1部】

コンサートは高橋晴美先生のご挨拶で開演。女声アンサンブル「Pure Voices」による「Silent Love」の演奏【写真・右】で「第1部」のプログラムがスタートしました。



「Pure Voices」は、前回の親睦会でお披露目したメンバー4人のうち半数は入れ替わりましたが、全員がコーラスハルミオンに所属する合唱団員としても活動しています。更に毎月一回、晴美先生のご自宅(ムジカハルミ)に通ってヴォーカルのレッスンに励んでいます。昨年秋には現在のメンバーになって初のライブコンサートを東京・銀座のライブハウスで開催、ステージングの経験も積みました。

この日は、カルテットにヴォーカルを交えながら7曲を演奏しましたが、お客様の心温まる大きな拍手に励まされて自信を深め、一歩前に進むことができたようです。



「第1部」のエンディングは、ネットワーク親睦会では初登場の後藤敬子さんのソロ演奏【写真・左】でした。

後藤さんは、「Pure Voices」のメンバーと同様にコーラスハルミオンの一員ですが、日ごろはご自身の音楽教室で子どもたちの指導に当たっています。3月には、埼玉県川口市のリリア音楽ホールで「親子コンサート～高橋晴美の世界と共に～」を開催して成功を収めました。

この日のステージでは、そのコンサートのアンコールで披露した「祈り」を情感たっぷりに歌いました。お客様の心の内にどのように響いたでしょうか。お客様から頂戴した拍手は、この先の音楽活動の大きな糧となるに違いありません。

【第2部】

「第2部」のプログラムは、コーラスハルミオンによる「歌が息をする」の演奏でスタートしました。ハルミオンは今年で創立23年を迎えましたが、コロナ禍で練習場が閉鎖され、活動の休止を余儀なくされるなどの苦い思いも経験しました。現在は、東京芸術劇場(池袋)のリハーサルルームを

メインの練習場にしていますが、この会場は抽選に当選しないと使用できず、代替練習場を求めて奔走することも稀ではありません。しかし、どのような状況の中にあってもメンバーのメンタルが低下することはありませんでした。大好きな晴美先生の曲を歌い続けたい、一日も早くステージに立って“Harumi’s World、をお客様にお届けしたいという一念で、練習場を変えながら、望月裕央、小野瀬照夫両先生のご指導の下で練習を積んできました。

その念願が叶ったこの日、ハルミオンは望月裕央先生の指揮、高橋晴美先生のピアノ伴奏、更に、八木秀樹さんのパーカッションとベースにリードしていただいて8曲を演奏しました。心のこもった精一杯のパフォーマンスをお届けできたつもりなのですが、お客様は大きな拍手で応えてくださいました。なかでも、アンコールを求める拍手が鳴りやまなかったことには感動させられました。アンコールで「ひとつ」をお客様とコラボ演奏した場面では、お客様の「ひとつ」への熱い思いと合唱団員の思いが一つになって絶妙なハーモニーを醸し出し、会場中に響き渡りました。“これぞ「ネットワーク親睦会」、と呼ぶに相応しい風景でした。

ご来場、ありがとうございました。また“Harumi’s World、でお会いできることを願っています。そして、引き続き高橋晴美先生の音楽をご支援くださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。



【お客様と一緒にアンコール曲「ひとつ」を合唱するコーラスハルミオン】

(堀江熙 記)